

愛媛県愛南町で観察されたオカヤドカリ科の稚ガニ

小林優也¹

¹ 大阪公立大学大学院理学研究科生物学専攻



写真1 オカヤドカリ科の稚ガニ

種の記録

Coenobitidae オカヤドカリ科

Coenobitidae gen. et sp. indet.

オカヤドカリ科未同定個体(写真1)

確認記録 観察年月日: 2026年8月28日. 採集場所: 愛媛県愛南町室手海岸(33°00'14.1"N, 132°30'22.9"E). 撮影方法: コンパクトデジタルカメラ Olympus TG-6.

種の特徴

前甲長は目視推定でおよそ 2mm. 体はおおむね乳白色で, 第1・第2触角は赤みを帯びる. 眼柄に斑紋はない.

備考

観察時, 個体は汀線から離れた陸上を歩行しており, 陸棲のオカヤドカリ科と判断された. 日本国内では, オカヤドカリ属のヤドカリは全て天然記念物に指定されており, 許可のない採集が不可能なため, 観察地点において写真撮影と目視での観察を行った. 観察時の気温は約 30°Cであり, 当該の個体は海岸のコンクリートと転石帯の境界部にて観察された. 四国島では, 高知県大月町でムラサキオカヤドカリ *Coenobita purpureus* の出現と再生産が報告されている(中地,

2009; 三田ほか, 2018). また, 三浦(2011)は, ムラサキオカヤドカリとナキオカヤドカリ *Coenobita rugosus* の識別点として眼柄下部の斑紋の有無を挙げており, 眼柄に斑紋がない点はムラサキオカヤドカリの色彩的特徴と一致した. 以上を踏まえると, 観察個体はムラサキオカヤドカリである可能性が考えられる. しかし, ヤシガニ属を含め, 本科の小型個体の種判別にはより詳細な外部形態観察と遺伝子解析による判断が必要ことから(Hamasaki et al., 2017, 2018), 正確な種同定に至らなかった. いずれにせよ, 愛媛県からこれまで本科の記録はないため, 今回の観察が本県におけるオカヤドカリ科の初記録となる.

謝辞

本報告をまとめるにあたり, 北里大学の是枝伶旺氏にご助言をいただいた. また, 本報告は, 藤原ナチュラルヒストリー振興財団, 大阪公立大学戦略的研究推進事業(OMU-SRPP2026_YR21)の助成を受けた. この場をお借りしてお礼申し上げます.

引用文献

- Hamasaki K, Tsuru T, Sanda T, Fujikawa S, Dan S, Kitada S. 2017. Ontogenetic change of body color patterns in laboratory-raised juveniles of six terrestrial hermit crab species. *Zootaxa*, 4226: 521–545.
- Hamasaki K, Fujikawa S, Iizuka C, Sanda T, Tsuru T, Imai H, Kitada S. 2018. Recruitment to adult habitats in terrestrial hermit crabs on the coast of Ishigakijima Island, Ryukyu Archipelago, Japan. *Invertebrate Biology*, 137: 3–16.
- 三浦知之. 2011. 宮崎県におけるオカヤドカリ類の生息状況. 宮崎大学農学部研究報告, 57: 71–77.
- 中地シュウ. 2009. 黒潮生物研究所周辺で見られるオカヤドカリ属について. *CURRENT*, 10(2): 2–3.
- 三田哲也・浜崎活幸・團 重樹・北田修一. 2018. 鹿児島県宝島と高知県大月町沿岸域におけるオカヤドカリ類の分布. 日本生物地理学会会報, 73: 87–94.

(2026年10月5日受付, 2026年10月9日公開)

連絡先: 小林優也 (e-mail: kumanomiojisan@gmail.com)

(Yuya Kobayashi. 2026. Discovery of a juvenile terrestrial hermit crab (Coenobitidae) from Ainan, Ehime Prefecture, Japan. NS Fieldnote, 26029)